

第5学年1組 国語科学習指導案

平成29年 6月1日(木) 2校時
 指導者 教諭 井上 竜一
 場 所 5年教室

1 本研究授業の提案

二つの新聞記事を読み比べる活動を通して書き手の意図に気付かせ、自分の考えを発表し合い交流することで、より考えを深めさせる。

2 本研究の授業技術課題

本時のねらいに迫ることができるように、精選して発問を行う。

3 単元名 新聞記事を読み比べよう

4 単元の目標

記事と写真との関係に注意しながら新聞記事を読み比べ、書き手の意図を読み取ることができる。

5 指導計画(本時 5/6時間)

時	主な学習活動	単元の評価規準
①	○学習の見通しを立てる。 ・二つの新聞記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る、新聞に見出しを付けるという学習の見通しを立てる。	【関心・意欲・態度】 新聞に関心を持ち、進んで内容を調べたり自分で書いたりしようとしている。
②	○新聞の構成や写真の役割について考える。	【読むウ】 新聞の構成や写真の役割について読み取っている。
③④	○二つの新聞記事を読み比べる。 ・見出しとリード、本文を読み比べ、共通点や相違点を読み取り、整理する。	【読むウ】 見出しとリード、本文を読み比べ、書き手の工夫を読み取っている。
⑤	・写真を見比べ、共通点や相違点を読み取り、整理する。	【読むウ】 写真を見比べ、書き手が採用した意図を読み取っている。
⑥	○前時までに整理した内容を基にして、二つの新聞記事の書き手の意図について考える。(本時)	【読むオ】 二つの新聞記事の書き手の意図について考え、意見を交流し、深めている。
⑦	○記事の内容や写真に合った見出しを書き、それぞれの良さや工夫を考える。	【書くウ】 学習したことを基にして、記事にあった見出しを書いている。

6 本時の展開

(1) ねらい

二つの新聞記事を読み比べ、それぞれの書き手の意図を読み取ることができる。

(2) 指導過程

学習活動	指導事項・留意点・評価
1 前時の内容を振り返る。 ・書き手は自分の意図することが伝わるように、見出しやリード、本文などを工夫して書いていた。 ・自分の意図を伝えるために効果的な写真を選んでいった。	・前時までの学習内容を全体でも振り返ることができるよう、ワークシートの内容を教室内に掲示しておく。
2 本時の学習課題を知る。 二つの新聞記事を読み比べ、それぞれの書き手の意図を読み取ろう。	

<p>3 書き手の意図を考える際に重要となるキーワードを書いた付せんを準備する。</p> <table border="1" data-bbox="153 255 895 515"> <thead> <tr> <th>A社</th> <th>B社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初夏 きらめく 1000万匹 つり人 多摩川 江戸アユ 若い力 風物詩 自然がもどる アユつり アユのシーズン 等々</td> <td>よみがえった 1000万匹 多摩川 アユの川 生き物が姿を消す 象徴的存在 もよおし 自然のめぐみ ついに 等々</td> </tr> </tbody> </table>	A社	B社	初夏 きらめく 1000万匹 つり人 多摩川 江戸アユ 若い力 風物詩 自然がもどる アユつり アユのシーズン 等々	よみがえった 1000万匹 多摩川 アユの川 生き物が姿を消す 象徴的存在 もよおし 自然のめぐみ ついに 等々	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までも取り組んでいるキーワード作文のキーワードを自分たちで選ぶとしたら何を選ぶか、という視点で考えさせる。 ・課題として考えさせておいた付せんを準備させる。 				
A社	B社								
初夏 きらめく 1000万匹 つり人 多摩川 江戸アユ 若い力 風物詩 自然がもどる アユつり アユのシーズン 等々	よみがえった 1000万匹 多摩川 アユの川 生き物が姿を消す 象徴的存在 もよおし 自然のめぐみ ついに 等々								
<p>4 グループでキーワードを分類し、重要度の高いものから順に三つ選ぶ。</p> <table border="1" data-bbox="153 618 895 770"> <thead> <tr> <th>A社</th> <th>B社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 風物詩</td> <td>1 象徴的存在</td> </tr> <tr> <td>2 自然がもどる</td> <td>2 よみがえった</td> </tr> <tr> <td>3 初夏 (例)</td> <td>3 自然のめぐみ (例)</td> </tr> </tbody> </table>	A社	B社	1 風物詩	1 象徴的存在	2 自然がもどる	2 よみがえった	3 初夏 (例)	3 自然のめぐみ (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・同じキーワード、似ているキーワードを分類し、さらに重要度を考えさせることで、より書き手の意図が反映されている言葉に気付かせたい。 ・A社は「風物詩」、B社は「象徴的存在」という言葉が重要なキーワードになっていることに着目させたい。
A社	B社								
1 風物詩	1 象徴的存在								
2 自然がもどる	2 よみがえった								
3 初夏 (例)	3 自然のめぐみ (例)								
<p>5 グループごとにキーワードを発表し、学級全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表したキーワードを板書で集約し、どのキーワードが重要かを考えて三つに絞る。 								
<p>6 二つの新聞記事の書き手の意図をノートに書く。</p> <table border="1" data-bbox="178 999 895 1218"> <tr> <td>A社：書き手は、自然がもどった多摩川で、初夏の風物詩であるアユの若い力のすばらしさを伝えようとしている。</td> </tr> <tr> <td>B社：書き手は、アユをよみがえった多摩川の象徴的存在とし、自然のめぐみの大切さを伝えてようとしている。</td> </tr> </table>	A社：書き手は、自然がもどった多摩川で、初夏の風物詩であるアユの若い力のすばらしさを伝えようとしている。	B社：書き手は、アユをよみがえった多摩川の象徴的存在とし、自然のめぐみの大切さを伝えてようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・共有したキーワードを基にして書き手の意図を記述させる。文頭の「書き手は」と文末の「伝えようとしている」の間を埋めて考えさせるようにする。 ・「風物詩」「象徴的存在」という二つの重要な言葉は活用して書かせたい。 ・文章化が難しい児童には、三つの中から一つでもよいのでキーワードを選んで書くように支援する。 <p><評価>書き手の意図について考え、適切なことばで表現することができたか。</p>						
A社：書き手は、自然がもどった多摩川で、初夏の風物詩であるアユの若い力のすばらしさを伝えようとしている。									
B社：書き手は、アユをよみがえった多摩川の象徴的存在とし、自然のめぐみの大切さを伝えてようとしている。									
<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ題材を扱う場合でも、書き手の意図によって記事の内容や使う写真が変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時では実際の新聞記事を活用して書き手の意図を考える活動を行うことを知らせる。 								

(3) 板書計画

<p style="text-align: center;">書き手の意図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>A社：書き手は、自然がもどった多摩川で、初夏の風物詩であるアユの若い力のすばらしさを伝えようとしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B社：書き手は、アユをよみがえった多摩川の象徴的存在とし、自然のめぐみの大切さを伝えてようとしている。</p> </div>	<p style="text-align: center;">キーワード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>初夏 きらめく 1000万匹 つり人 多摩川 江戸アユ 若い力 風物詩 自然がもどる アユつり アユのシーズン</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よみがえった 1000万匹 多摩川 アユの川 生き物が姿を消す 象徴的存在 もよおし 自然のめぐみ ついに</p> </div>	<p style="text-align: center;">新聞記事を読み比べよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>二つの新聞記事を読み比べ、それぞれの書き手の意図を読み取る。</p> </div>
--	--	--

(4) 本時の評価

具体的評価基準	書き手の意図について考え、適切なことばで表現することができる。(観察・ノート・発言)
Aと判断する姿	書き手の意図について考え、重要な三つのことばを活用して表現することができる。(観察・発言)
Cへの手だて	キーワードの中から一つ選んで文章化できるように支援する。

